

11月号
VOL. 481

土会奈良



リヤドの中庭



リヤド民宿の客室

SHIKAI

2014 NARA

表紙のことば

アラブの町家（メディナのリヤド）



世界遺産フェズの城門

西暦610年ころ、アラビア半島で興ったイスラム教は、周辺地域を支配下に置きつつ大帝国を作っていった。北アフリカのチュニジアやモロッコは、アラビアから見て西にあるのでマグリブ（日の沈む土地）と呼ばれたが、ここも7世紀の末にはウマイヤ朝に征服された。

アラブ人たちは戦略的要所に城壁都市を建設し、これをメディナと呼んだ。北アフリカ地域の都会ではたいていメディナが旧市街として残っている。城壁には限られた数の門があり、内部の道は迷路のように入り組んでいる。中には支配者の宮殿、スーク（市場）、モスク（イスラム教会）、マドラサ（イスラム神学校）、キャラバンサライ（隊商宿）、ハمام（共同浴場）などが作られている。市場は伝統的なアーケードになっており、現代の土産物スークでは「ヤスイヨ」、「コレ、シュウトメサンノ オミヤゲニ」などと怪しげな日本語が飛び交う。私が好きなのは共同浴場で、小さなものは男女の入浴時間を分けている。浴槽はなく洗い場だけがあって、その洗い場全体がサウナになっている。垢すり職人に頼むと、背中の下から垢を集めて最後は肩に乗せて見せてくれる。久しぶりだと自分でも驚くほどの垢が採れてチップをはずむことになる。

もちろんメディナの中の建築物の多くは住宅。リヤドとは「邸宅」と言うほどの意味。メディナの中の邸宅は、街路から見れば、ただ窓の少ない3階分の大きな壁が立ちあがっていて、扉が一つあるだけで誠にそっけない。日本にも町家と言う伝統的な都市住宅がある。今井や奈良町の町家は前面道路ぎりぎりまで格子戸の壁面を持ってくる。日照と通風確保のために主屋の後ろに坪庭を作るが、その庭は壁と建物で囲まれている。一方、アラブの町家であるリヤドの場合は、街路には入口の扉以外の開口部をほとんど設けず、中庭をつくって、各部屋はこの中庭に対して入り口や窓を作る。

モロッコ国のマラケシュ、フェズ、エッサウィラや、チュニジア国のチュニス、カイロワン、スースなどメディナのいくつかは世界遺産に登録されており、観光地になっている。ありがたいことに多くのリヤドが民宿に使われている。歴史的な住宅であるから客室は少なく2室から多くて10室くらい。同じ客室は2つとないので各部屋の料金がみんな違うことが普通。今ではインターネットで予約できるので非常に便利であるが、駐車場まで民宿の人に迎えに来てもらい、石畳の迷路をスーツケースを引きずって歩く覚悟は必要だ。

長旅の末に宿泊先のリヤドに辿り着いて、入口の扉をくぐると、中は別世界。中庭は3階分の吹き抜けで、噴水などを配置してある。宿泊客は中庭のテーブルで歓迎のミントティをふるまわれる。控え目な壁の装飾は歴史を感じさせるものが多い。民宿に改装されたリヤドは全ての客室にバストイレがついており、たいていはネット環境もOK。アラブ圏を旅行する際にはお薦めの宿である。

（記・阪本日出雄 国際開発コンサルタント（株）パデコ）

情報・広報委員会

委員長	松尾 憲治	
副委員長	田上 圭吾	折目 貴司
委員	乾井 哲	岩城由里子
	鵜山 治	大倉 克之
	小松原寛俊	崎山 泰正
	福西 保夫	福本 保治
	藤井 靖彦	宮浦 重彦

Contents

002 森林技術センター
第5回「木が木でなくなる話
「軟質なスギ材を硬くする」

004 青年委員会
「大和さくらい万葉まつり」レポート

005
「インターンシップ」レポート

006 奈良県農林部
奈良の木ブランド課
「奈良の木の家コンテスト」

007 奈良の木マーケティング協議会
「奈良の木の匠養成塾」レポート

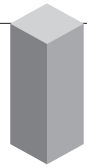
008
「第34回近畿建築祭 兵庫大会」案内

010
「今井町称念寺現場公開 レポート」

011 郡山支部
「堺スマートハウス・タウン見学会」案内

012
「はならぁと2014」郡山支部
「奈良県エリアマネジメント推進事業」
案内 桜井支部

013 お知らせ
「平成26年度一級・二級・木造建築士
定期講習のお知らせ」



木が木でなくなる話

第5回「熱処理による木材の高耐久化」

1. はじめに

これまで化学加工の主目的である「木材の3大欠点を解消する技術」についてお話をしてきました。その他、スギなどの軟質材にとっては、表面硬度の改善は極めて重要なテーマです。今回はそのための技術をいくつか紹介します。

平成22年10月に施行された「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律（以下「利用促進法」と略します）」により、公共建築物および民間の建物でも公共性が高い建築物にあっては、木造あるいは内装の木質化を進めることが法制化されました。この法律に基づき、東京都港区では、5,000㎡以上の床面積がある建築物を新築あるいは改築する際、1㎡当たり0.005㎡以上の木材を利用することを区の方針として明文化しています。この目標値は少ないようですが、5,000㎡の建物でも25㎡の木材を使うことになり、それを厚さ12mmの板材に換算しますと2,000㎡以上の面積を木質化しなければならないことになります。

ところで、利用促進法で木材利用を促す目的は、林業の継続的な経営を支え、森林の荒廃を防ぐことであり、国産の人工林木の利用をターゲットにしています。ご存じのとおり、我が国の人工林のうち圧倒的に多いのがスギ林で全体の約45%、次いでヒノキ林が25%です。つまり、スギあるいはヒノキをビルの内装に使うことが求められているのです。

腰壁よりも上の壁材や天井材は防火材料を使うことが建築基準法で定められていますので、前回紹介しました「木材の不燃化」は利用促進法に照らしても極めて重要な技術なのですが、コスト的に広い面積を不燃木材で覆うことは難しいと言わざるを得ません。関東在住の建築士の方に話を伺いますと「床材に使わない限り、港区の方針を守るとは無理。しかし、スギやヒノキはあまりにも軟質で、ビル（土足歩行用）の床材に使うことは不可能に近い。全く「建築士泣かせ」な方針で、下手をすると絵に描いた餅になる危険性がある。」とのことでした。これはビッグチャンスです。もしも、スギ材をナラ材程度の硬さにすることができれば、大きな商機と踏み込みました。

2. 軟質材を硬くする

第1話でお話ししましたとおり、スギ材やヒノキ材は圧倒的に空隙が多く、細胞壁が薄いので（実質率20～25%）、軟らかく傷つきやすいのです。ちなみに、床板などによくつかわれているナラ材は実質率が40%程度です。このことから考えますと、空隙を減らせば硬度は上がるはず。それには2つの方法があります。

ひとつは、空隙にプラスチックを充填する方法です。プラスチックは高分子材料ですから、これも第1話でお話し

しましたようにプラスチックを注入することは不可能です。一般的にはプラスチックの原料である「モノマー」を反応開始剤などと共に木材中に含浸させた後、加熱等により木材中で高分子化（プラスチック化）させる、いわゆる「含浸型WPC（WoodPlastic Composite）化」という手法が使われます。質感がややプラスチックのようになりますが、硬さは飛躍的に向上します。表面硬さを出すには表面1mm程度に樹脂含浸層ができていれば十分であること、また、注入量（表面からの浸透深さ）を制御することが難しく、かつ薬剤が高価であるために、我が国では、WPC化した1mm以下の化粧単板を、基材である合板やMDFに接着した複合フローリングが主に作られています（図1）。



図1 WPCフローリングの施工例（大建工業HP）

空隙を少なくする二つ目の方法は「圧縮」です。ホットプレスで熱をかけて木材を軟化させながら、年輪と垂直方向に押しつぶしていきますと、図2Bの写真のように細胞壁は折りたたまれるように変形していきます。スギ材を半分程度になるまで押しつぶしますと、計算上実質率はナラ材と同じ40%程度になりますので、床材として使える硬さが得られます。しかし、圧縮しただけでは時間経過とともに、湿潤と乾燥が繰り返されると、圧縮変形した細胞壁が回復し、図2Cの写真のように、元に近い状態になりま

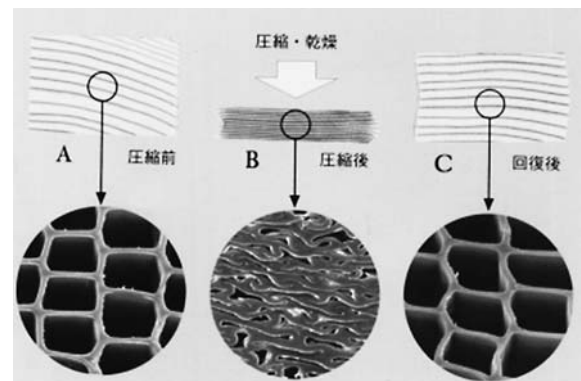


図2 圧縮処理に伴う細胞壁形状の変形（すばらしい木の世界：日本木材学会編 海青社 1995発行）



略歴 伊藤貴文（いとう たかふみ）奈良県森林技術センター副所長
1956年京都市生まれ。1982年3月京都大学大学院農学研究科林産工学専攻修士課程修了。1983年4月奈良県林業試験場（現森林技術センター）勤務。1997年7月、京都大学より農学博士の学位授与。2013年より現職。専門分野は「木材の化学加工」、「木質バイオマスの利用」

賞 罰

- ・スギ樹皮を原料とする和紙製造技術によって、1994年5月、日本林業技術協会より第40回林業技術賞授与。
- ・水溶性薬剤による木材の化学修飾に関する研究（寸法安定化・高耐久化）によって、2002年1月、日本木材学会より第3回技術賞、同年4月、文部科学大臣賞（第22回科学技術振興功績者）
- ・吸湿性を抑えた不燃化技術によって、2010年5月日本木材加工技術協会より第55回加工技術賞授与。

す。そこで、圧縮変形が回復しないように、さらに高温水蒸気で処理をするなどして、変形の固定を図っています。スギやヒノキを圧縮した圧密床材は、主として公共施設に施工されています（図3）。



図3 ヒノキ圧密床材の施工例（マイウッド・ツーHP）

3. 奈良県森林技術センターでの取り組み

私達もスギなどの軟質材の表面硬度を上げるのに圧縮処理を選択しました。しかし、平板プレスにより材料全体を押しつぶして、その変形を固定する処理は、装置が大がかりで設備費がかさみ、また、処理費用や消費エネルギーも多く要ります。そこで、図4のようなホットロールプレスで表面のみを圧縮する方法を採用しました。材料の厚みよりも、ロールの間隔を1～2mm狭く設定しておき、その間を通過させることで、表面のみを圧縮するのです。この方法で圧縮変形が生じるのは表層1mm以内で、表面硬度もある程度改善できますが、到底ナラ材には及びませんでした。また、無塗装では水滴などが落ちるとその部分の変形が容易に回復してしまうという欠点もあります。

含浸型WPCについては先ほどお話ししましたとおり、

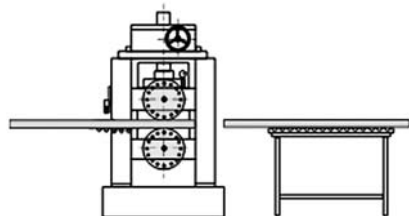


図4 ホットロールプレスでの圧縮処理と装置の概略図

厚さ1mm以下の単板に含浸処理することで、必要な表面硬度が担保されます。そのことから、特殊な塗料で数百ミクロンの樹脂層をスギ材表面に形成させることも検討しましたが、スギ材は余りにも軟らかく、5回塗布しても土足歩行が可能なレベルには至りませんでした。そこで、ロールプレスによる表層圧密処理と、上述の特殊塗料による処理を併用することにしました。ロールプレスでの圧密後、特殊塗料を2回塗布することで、鉛筆硬度4H以上という表面硬度を出すことができました。ロールプレスでの表層圧密層が樹脂のしみ込みを抑制し、2回の塗布で十分な塗膜厚さができたことと、その樹脂層と木材組織の圧密層との合計が800μm程度になったことで、内部の（圧密化されていない）軟らかい部分が表面性能に影響しない程度の硬い層が形成された結果だと思われます。

技術は県内の住宅部材メーカーに移転され、「吉野杉ハードフローリング」という商品名で販売されています。図5に示すような公共建築物のほか、一般住宅の床材にも使われており、住民の方からは「暖かい」、「足が疲れにくい」と好評を得ております。表面の密度が高くなった分、元のスギ材よりは触れた感じが冷たくなったのは否めませんが、内部のほとんどの部分が元の状態ですから、断熱性や柔軟さというスギ材の特徴をさほど損ねないことがその理由と言えます。また、十分な塗膜厚さがありますので、圧縮した組織が目立って回復することや、それによる不陸の発生などは施行後3年以上経過する物件でも観察されていません。



図5 吉野杉ハードフローリングの施工例
（上）橿原公苑内ジョギング＆サイクリングセンター
（下）愛媛大学付属中学講堂（有形登録文化財）



青年委員会

「大和さくらい万葉まつり」レポート

「大和さくらい万葉まつり」が2014年9月6日（土）に行われ、青年委員会としては3年連続の参加になりました。

「間伐材の利用啓発」「地域の活性化」「コミュニケーションの形成」「森林環境保全」という4つのコンセプトに取り組むべく今年も、間伐材で作ったカヌーの乗船体験と木のパズルの体験・販売を行いました。



まつりは、午後2時から午後8時30分まで予定されていましたが、午後5時には大雨になり中止になりました。

しかし、3時間程度のわずかな時間ではありましたが、カヌーの乗船体験は概ね予定通り運営することができました。今年も予想以上の長蛇の列ができて大盛況でした。

毎年親子や子ども同士で利用して下さる方が多かったので、子どもたちに自然の中で木に触れてもらう機会をつくれたことだけでも有意義であったと手応えを感じています。



また、ブースでは建築士会の活動のPRや木のパズルの体験・販売を行いました。雨天のため、運営時間が短縮になったこともあり木のパズルの販売個数は伸び悩みましたが、たくさんの方に組み立てる体験をして頂きました。大人でも組み立てるのはなかなか難しく試行錯誤しながら、楽しく木に触れてもらえうことが出来ました。

今年は万葉まつりの実行委員会の取り計らいもあり、建築士会のブースはまつり会場の出入り口のところに配置して頂いたため、来場者全ての人の目に触れることが出来ました。短い時間ではありましたが、たくさんの人に建築士会の活動を知って頂くことができ、活動のPRとしては成功であったと感じています。



今後も、地域のイベント等に積極的に参加させて頂くことにより、地域の方々との交流を深めることが、建築士会の活動を知って頂くことにつながるとともに、コンセプトとして掲げていた「間伐材の利用啓発」「地域の活性化」「コミュニケーションの形成」「森林環境保全」という4つのコンセプトを深く伝えることが出来るのではないかと考えています。

（記・青年委員会 桜井支部 藤本和宏）



「インターンシップ 高校生就業体験の受け入れ」

毎年、奈良県立朱雀高校建築工学科の学生の就業体験を受け入れています。朱雀高校建築工学科では就業体験が2年生の必修科目になっているそうで、今年は二人の女子学生が来所しました。体験期間は3日間ですが、毎年どんな作業をしてもらうか悩みます。今年はタイミングよく設計中の住宅の模型を作る作業があったので、模型作りをしてもらうことにしました。



まずはこの計画の設計主旨を図面を見ながら説明し、どのような手順で模型を作るか、どこをきっちりとすると出来栄が良く見えるか等、以前に作った他の模型を参考に説明しました。まだ模型作りの経験も少ないとのことでしたが、出来るだけ二人で考えて進めるようにとしばらく放っておくと、思っていた以上に作業が早くてきれいで、良い仕事をしてくれました。



模型作りはすごく楽しいと言っていたので、設計をするのは更に楽しいという話をしました。

模型は、施主に見ていただいて図面では表せない立体感を理解していただく為に作りますが、コンセプトが伝わる

ような写真を撮って2次元の画像としてもイメージを表現しますので、模型完成後は撮影会をして写真の撮り方も説明しました。二人とも携帯カメラでいろいろな角度から写真を撮っていました。



最終日は建築中の木造の現場へ。ちょうど現場作業が休みの日だったのでゆっくり見学させてもらいました。木造の現場を見るのは二人とも初めてとのことでした。木造の部材の名前や工法、仕口や金物のその他、吉野材で作られた建物でしたので吉野杉や吉野桧、地松などの材の種類の特性や、建築材料の木を育てる日本の林業と環境の話、現代の木造の現状や問題点、日本の木造文化についても話をしました。

一度にたくさん話をしたので、まだ理解できないこともあったと思いますが、建築の仕事にもいろいろな側面があることや、どんな仕事でも自分で考えて判断することを知ることが出来たと思います。

ほんの3日間の就業体験でしたが、個人事務所の仕事の一端を見ていただけたと思います。



(記・生駒支部 岩城由里子)



奈良県農林部 奈良の木ブランド課 「奈良の木の家コンテスト」の開催について

奈良県産木材を使った住宅の優良事例を一般に広く知っていただくことを目的に、「奈良の木」マーケティング協議会主催で、「奈良の木の家コンテスト」が開催されました。

■コンテスト概要

【応募する住宅の条件】

近畿圏内において、新築もしくはリフォームする際、奈良県産木材を使用した住宅であること等。

【応募資格者】

「奈良の木」マーケティング協議会に事業者登録している、設計業者または建築事業者。

【審査の視点】

- ・奈良県産木材を活用するための工夫や技術
- ・奈良県産木材と他の素材が調和したデザイン
- ・快適さなど住まい手に配慮した機能性や間取り

【審査方法】

- ・1次審査：審査員の選考により、2次審査に進む作品を新築・リフォーム各部門10作品ずつ決定。
- ・2次審査：イオンモール橿原でのイベント「奈良の木づくりフェスタ」にて一般投票(10月4・5日 実施)を行い、各賞を決定。

■1次審査(9月5日 奈良県木材協同組合連合会)

新築部門42作品、リフォーム部門30作品と多くの応募があり、協議会構成団体長らによる審査により、各10作品が選ばれました。

■2次審査(10月4・5日 イオンモール橿原)

「奈良の木づくりフェスタ」にて、1次審査通過作品のパネルを貼りだし、来場者の皆様計921名に投票いただきました。皆真剣にパネルを見比べ、「こんな家に住みたい」という声も多く聞かれました。5日には、1次通過者を集め、結果発表と表彰式が行われました。



作品パネル展示・一般投票



表彰式

■受賞結果

【新築部門】

- 最優秀賞：輪和建設 株式会社
「木の香りが流れる家」
- 優秀賞：株式会社 イムラ
「本格和室のある伝統と新しさが調和した家」
- 優秀賞：株式会社 和
「薪ストーブと中庭のある家」
- 審査員特別賞：有限会社 羽根建築工房
「絵画を楽しむ家」



新築部門の最優秀賞作品写真

【リフォーム部門】

- 最優秀賞：輪和建設 株式会社
「日本建築の美しい家」
- 優秀賞：中谷工務店一級建築士事務所
「家族の想いを住み継ぐ古民家再生」
- 優秀賞：輪和建設 株式会社
「賑やかに集う家」
- 審査員特別賞：マスタープラン一級建築士事務所
「テラコッタタイルのホビールームのあるリノベーション」



リフォーム部門の最優秀賞作品写真

※受賞作等についての詳細は、「奈良の木」マーケティング協議会HP (<http://www.naranoki.net/>) でご確認ください。

(記・奈良県農林部奈良の木ブランド課：細尾宏之)



奈良の木マーケティング協議会 「奈良の木の匠養成塾」レポート

奈良県には「日本三大人工美林」のひとつに数えられる吉野林業地帯があり、特に吉野杉は木目が美しく強さも兼ね備えている高級ブランド材として広く知られています。今回、奈良の木について、より魅力を学び、利用拡大を図るため、『奈良の木の匠』養成塾が開講されました。

養成塾では営業マンコースと建築・デザインコースの2コースが開講されました。私が参加した建築・デザインコースでは、3回にわたり奈良の木を魅力的に利用するための実践的な内容を学んだ他、著名人による講演も行われました。

第1回(7/19)。桜井市立図書館にて、奈良農林部林業振興課の阪口博章さん、奈良県森林技術センター木材利用課長の中田欣作さんより、奈良県の林業の歴史や木材の基礎や特長を学びました。そして「エコ住宅と木材利用」と題した東京大学准教授の前真之さんによる講演では、よい住宅とはどういうものか、エネルギーの観点から他国との比較も交えて、これからの住宅環境の在り方を教えていただきました。



第2回(8/2)。(株)徳田銘木では、形・木目・材質に趣のある銘木と呼ばれる希少価値の高い用材を製造販売されており、徳田社長からは多種多様な木々についてや、一見使い道が無さそうな個性が強い木にも活かし方が必ずあるとの説明を受けました。また、使用例をいくつか拝見させていただきましたが、木がおりなす空間は圧巻でした。



中神木材の中井章太さんからは、私たちもよく知る桧や杉の木が生い茂る吉野の山を案内していただきました。そこで、意外と知らない桧と杉の見分け方を教えていただき、とても勉強になりました。



阪口製材所では、木材の製材だけでなく、家づくりにも力を入れていらっしゃいます。徹底した品質管理は大きな信頼と安心・安全を生みます。適材適所に吉野の木をふんだんに使ったモデルハウスはとても心地のよい空間でした。



第3回(8/23)。養成塾最終日はM s 建築設計事務所の三澤康彦さんとg r a f 代表の服部滋樹さんによる講演が行われました。

三澤さんは木材の仕入れを工務店にまかせず、三澤さんご本人が行うそうで、自らの目で確かめて見極める木材へのこだわりを感じました。

クリエイティブディレクターとして活躍する服部さんは、これまで一般的に行われてきた仕組みや概念を疑うことの大切さを教えてくださいました。「モノ」に「ヒト」が合わすことの多い時代ですが、本来は「ヒト」があつての「モノ」づくりを原点と考え、十人十色の希望を叶える為に服部さんはリサーチを徹底されているそうです。



さまざまな観点から奈良の木を見つめてきた今回の養成塾。予備知識がほとんどない私にとって、すべてが新鮮で刺激になり、大きな糧となりました。養成塾を企画してくださった奈良の木ブランド課の皆様、各関係者様、本当にありがとうございました。

(記・奈良支部 木本千香子)



第34回「近畿建築祭」(兵庫大会)のご案内 「1.17からの20年をふりかえって」

今回は、先の「阪神・淡路大震災」の都市直下型の震災から20年目の節目の年に当たります。

兵庫県建築士会が近畿建築祭を主管するにあたり、我々のこの20年の間の活動を検証し、輝ける未来への示唆に富んだ実り多き大会になることを計画しています。

多くの方々が集い・参加することを期待し、心からお待ち申し上げます。

開催日時 平成27年1月31日(土) 9:30~19:00

会場 神戸市産業振興センター3階 ハーバーホール ほか
神戸市中央区東川崎町1丁目8番4号

JR「神戸駅」より徒歩5分、阪神電車「西元町駅」より徒歩6分

第1部 参加費 ¥3,000 (お土産・昼食付)

9:30~10:20 受付

10:30~11:00 記念式典

11:10~12:30 基調講演 室崎 益輝氏 神戸大学名誉教授
テーマ「震災から20年 ―防災安全と建築士―」

12:30~13:30 昼食 各会議室

13:30~16:30 発表会

セッション1	「事例に学ぶ 役立つ防災実践と建築士の役割」	(防災委員会)
セッション2	「北野・山本地区の景観まちづくりを学ぶ」	(女性・まちづくり委員会)
セッション3	「歴史的建造物調査 平時のネットワーク構築を考える」	(ヘリテージ委員会)
セッション4	「過去―現在―未来へ」	(兵庫青年委員会)
セッション5	「近畿あーきてくと2015 ―地域のそなえ―」	(近畿建築士会協議会委員会)

17:00~17:30 閉会式

第2部

17:30~19:00 交流会 参加費 ¥5,000 (10階 レセプションルーム)

・申込要領

- ① 申込締切日 平成26年11月25日(火)です。
- ② 参加申込書に必要事項記載の上、期日までに**所属建築士会事務局**まで申し込みください。
- ③ 各セッションの定員を超えた場合は、第2、第3希望に変更させていただきます。
- ④ 参加費等必要金額の入金完了をもって申込完了とします。
入金後の平成26年12月5日以降のキャンセルに伴う返金には対応いたしかねますのでご了承ください。

■各セッションのご案内（参加費には式典参加費・資料・昼食代・お土産代含）

タイトル・会場・開催時間	内 容	定員
セッション1 事例に学ぶ、役立つ 防災実践と建築士の役割 会 場：大ホール 13：30～16：30	防災委員会担当 報告1 親子で参加する防災イベントの取り組み 報告2 消防団員と連携した家具固定の取り組み 報告3 地域性を考慮した地盤研修の取り組み 他 コーディネーター 室崎益輝（兵庫県立大防災教育センター長） 司会進行 大西一嘉（神戸大学大学院準教授）	60人
セッション2 北野・山本地区の 景観まちづくりを学ぶ （ガイドと共に歩く街歩き） 会 場：北野工房のまち 移動要 13：30～16：30	女性・まちづくり委員会担当 ・異人館が点在する観光地として知られる北野において、この地区を居住地としている方々や仕事場としている方々が北野地区の特徴を生かしたまちづくりにどのように取り組み、今後発展させていこうとしているのか、改めて景観を主眼としたまちづくりを通して、北野に関わる人々の暮らしを見つめる。具体的に、景観まちづくり推進員養成講座を受けてきた地元活動家や専門家が行う講座の成果発表会に参加することで、どのような方法で景観まちづくりにかかわっていくのか、また、景観まちづくりに関わる人材育成をどのように行っているのか、神戸の状況を紹介する。	50人
セッション3 歴史的建造物調査 平時のネットワークを 考える 会 場：904・905 13：30～16：30	ヘリテージ委員会担当 ・日本建築士会連合会は、「被災歴史的建造物の調査・復旧方法の対応マニュアル」を作成し、平常時から地震発生直後、本格復旧までの対応方法を時系列に沿って解説している。このマニュアルを効率的に運用するため、近畿各府県での平常時のネットワーク構築について考察する。 ・平常時の準備作業の事例として、神戸地区のヘリテージマネージャー有志が進めている、市内の歴史的建造物のデジタルマップ作成作業を紹介する。	50人
セッション4 兵庫県建築士会 過去－現在－未来へ 協賛メーカー展示ブース 会 場：902・903 13：30～16：30	兵庫青年委員会担当 ・「阪神・淡路大震災」より20年経ち、周りの景色もかわりました。建築業界の置かれている立場も変わりました。また、建築士会の現状も厳しいものとなっております。 兵庫県建築士会調べの過去より現在へ、さらに未来へはどうなるのかを、予測を含めパネル化し展示したいと思います。 今回の近畿建築祭にご賛同頂き協賛頂きましたメーカーなどの展示ブースを設けております。ご覧頂きよい交流が出来る事を願っております。	観覧自由
セッション5 近畿あーきてくと 2015 ー地域のそなえー 会 場：902・903 13：30～16：30	近畿青年委員会担当 ・平成6年度より開催しております『近畿あーきてくと 地域実践活動発表会』も今回で22回目を迎えようとしています。過去、様々なテーマで発表してまいりましたが、今年度は、「阪神・淡路大震災」から20年の節目であることから、次なる様々な災害に備えて『地域のそなえ』というテーマで近畿各府県の地域活動を実践しておられます皆様に発表をして頂きます。災害から得た教訓を生かし、未来に向け安全で安心な社会を守る為の様々な地域で実践されている「そなえ」を多くの人と共有することで、更なる一助となると考えます。	50人

※各セッション共、定員を超えますと他のセッションに変更になる場合がございます。

ご応募の際は第2希望、第3希望のコース名も必ずご記入くださいますようお願いいたします。



今井町称念寺現場公開 レポート

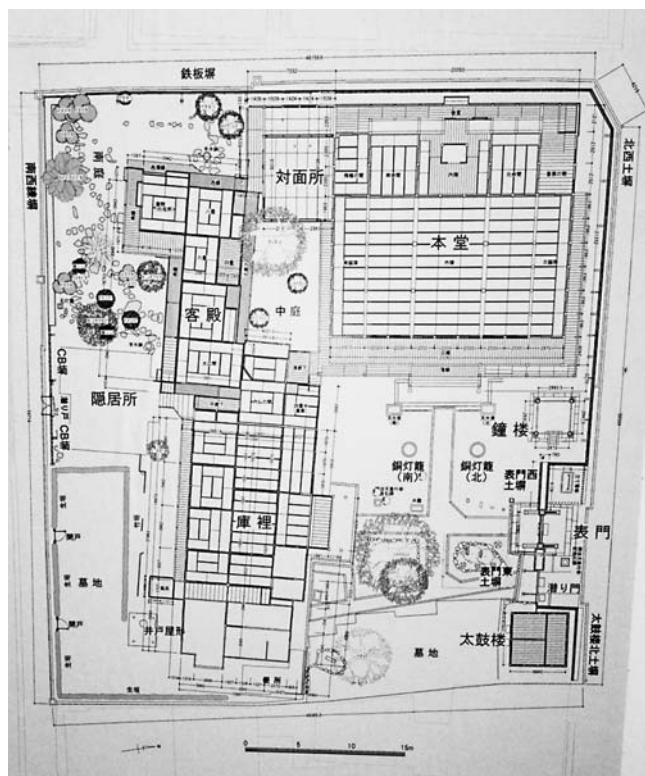
○平成の大修理 第2回重要文化財
称念寺本堂保存修理現場公開見学会

称念寺の有る今井町は、12～13世紀高市郡今井庄として成立。16世紀までは興福寺領として存続し、堺の豪商と深い交流があったことから、その後商業都市として栄え、「海の堺 陸の今井」と呼ばれるようになる。

幕藩体制が整った17世紀後半、江戸時代幕府領支配下として代官所が置かれ、大名相手の金融業者も活躍し藩札と同じ価値の独自の紙幣「今井札」も流通し、「大和の金は、今井に7分」「金の虫干し玄関まで」と言われるほどに繁栄し幕府も一目置く自治都市になった。

浄土真宗本願寺派の称念寺は、天文年間、今井兵部豊寿ならびに鶴寿によって一向宗を広めるための道場として建てられ、その後、御坊として整備され境内地を中心に発達した寺内町として今井成立の中核をになってきた建物である。

今回見学の本堂は平成14年5月23日、国の重要文化財に指定される。桁行20m・梁間約21m、入母屋造。南西に取り付け対面所（元禄8年）以前に建てられたことが明らかであることから、17世紀初期頃の建設と考えられる。



称念寺配置図 右上：本堂・左上角：行在所

屋根は本瓦葺で葺土を入れた総重量は約200t、小屋組高さ約9m。今回の見学会では、小屋梁組と、入り母屋部分・軒先部分の葺土と割竹を荒縄で巻いた下地が残った状態で見る事が出来ました。



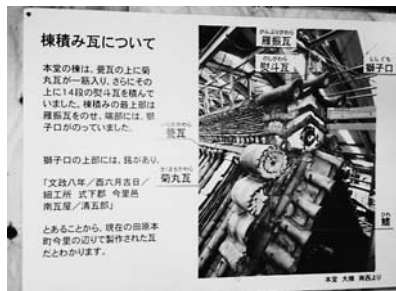
小屋裏の梁組・垂木組



軒先部分の葺土・割竹下地

また、解体された妻飾りや瓦が展示され、棟積み瓦についての解説では、菊の紋を白く塗潰したところが有り、元々瓦に菊の紋を使っていたが明治に入り菊の御紋を使用することを禁じられたが其の儘としていた処、明治10年、明治天皇が畝傍御陵行幸の折、称念寺が行在所と成り急遽本堂の獅子口瓦等の菊丸瓦の紋を塗りつぶしたのではないかと（棟積み瓦写真参照）との説明に見学者は、一様に頷いていました。

懸魚・破風板・臺股等（後補と判明）が展示され、手の届くところで見ることがない部材や、平瓦・丸瓦・葺瓦・軒先瓦等保存されたところも見ることが出来ました。留蓋瓦の獅子の滑稽な姿は可愛く、思わず写真に収めました。



棟積み瓦



留蓋瓦の獅子

外壁塗壁は解体され、外陣は、平の格天井で中央に円柱が4本立ち、彫刻を施した虹梁形指物で繋がれている。外陣より一段高い内陣は、中央に須弥壇と来迎壁、その両脇奥に仏壇（別保存）を構え、内陣両側に北余間、南余間にも仏壇（別保存）を構える。平成の大修理は、平成22年4月着工～平成31年12月竣工予定、総工事予算額は、16億円。平成23年10月北面戸堀、鐘楼の解体工事が終了、昨年夏から始まった素屋根工事が平成26年6月に完成、同年9月27日・28日一般公開見学会が開催された。屋根解体工事後の調査では、改修工事で使える部材は半分程度で、樹種は、松・杉・檜の他、縦の木が使われていることが判明。また称念寺文書や本堂に残る墨書・銘文により、19世紀前半に大きな修理が有り、屋根の葺替え・堂内の修理も行われたようである。

（記・檀原支部 安田千鶴代）



郡山支部活動案内

『SMA×ECO TOWN 堺・晴美台』見学会

郡山支部では、「城下町大和郡山の建物探訪問」部会として、江戸末期から昭和初期にかけてのまち並み調査を実施しています。一方、日本全国には戦後昭和30年代から40年代にかけて開発された「ニュータウン」が数多く存在し、その高齢化や活性化も社会問題となっています。

そこで、郡山支部では、古くなった「ニュータウン」の小学校を新しい街として再生した「堺・晴美台」を見学し、戦後のまち並みの課題や最新の街づくりについての知見を深める目的で、見学会を開催いたします。

士会会員以外の方も参加可能な見学会です。ご参加希望の方は11月12日（水）を目処にご連絡ください。

○日程 11月24日（祝） 8：00出発—18：00帰着

○見学会内容

「堺 晴美台」見学→昼食→堺市内の町家見学（ツアー）

○参加費／募集数 3,000円／15名（定員に達し次第メ切）

○集合場所 大和郡山市三の丸会館前広場

○主催 （一社）奈良県建築士会郡山支部

○連絡先 郡山支部 折目（090-8230-1447）

◆「晴美台」事業概要◆

・所在地 大阪府堺市南区晴美台1-38
（堺市立晴美台東小学校跡地）

・開発面積 16,754.74㎡

・売主・施工 大和ハウス工業株式会社

・総戸数 65戸（別に共用施設として集会所1戸）

○「晴美台エコモデルタウン創出事業」

低炭素な街づくり、環境にやさしいライフスタイル、泉北ニュータウンの再生モデル、環境技術の進歩に貢献＋ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）

○「国土交通省『省CO₂先導事業』」

・省CO₂の実現性に優れたプロジェクトとして採択された

○街づくりでの取り組み

・地域の風況を考慮し、隣接する里山の冷気を取り入れて住戸内へ導くなど自然環境を上手に活用【図1】

・集会所には、太陽光発電システムと大型リチウムイオン電池を設置し、電気自動車の充電にも利用

○住宅における取り組み

・全ての住戸を次世代省エネルギー基準Ⅲ地域の高断熱仕様とし、太陽光発電システムやLED照明、高効率給湯器もしくは燃料電池を採用することでZEHを実現

・全住戸に家庭用リチウムイオン電池を採用することで、HEMSで制御することで電力消費のピークシフトを実現

○マネジメントへの取り組み

・団地内専用のホームページを開設し、各戸のHEMSからデータを集計して、団地全体のエネルギー状況の見える化を行うとともに、コミュニティ形成に役立つ情報を提供

・ホームページ内では、住戸毎に省エネルギー貢献度のランキングを表示し、貢献度の高い住宅には団地内エコポイントを付与。ポイントは、団地内で実施するカーシェアリング利用の際に使用することが可能【図3】

○団地内に管理組合を組成

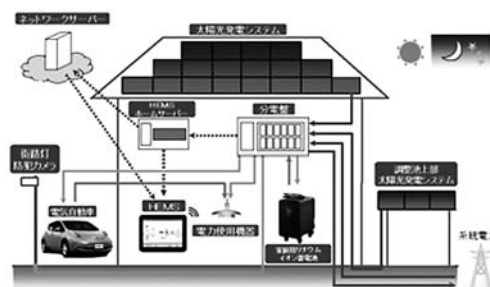
○「晴美台エコモデルタウン」普及への取り組み

・堺市と連携して、エネルギー消費量削減やCO₂排出量削減、および環境行動促進の普及への取り組み実施

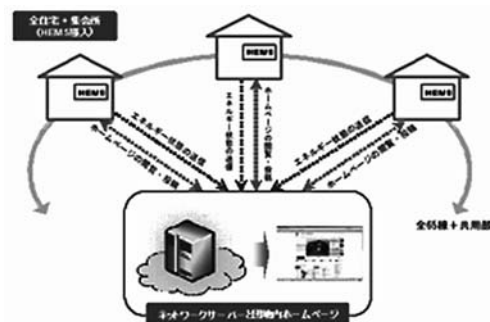
（出典：大和ハウス工業株式会社 ニュースリリース）



【図1 街区の風の流れをシミュレーションした図】



【図2 集会所システムイメージ図】



【図3 団地全体のエネルギーの見える化システム】

郡山支部活動案内

「みる・しる・つくる城下町の町家」@「はならあと2014」郡山八幡神社

奈良・町家の芸術祭「はならあと2014」の季節が近づいてきました。大和郡山では11月7日（金）～16日（日）に開催されます。（「はならあと2014」全体については公式ホームページをご覧ください（<http://hanarart.jp/>））。

郡山支部では、「城下町大和郡山の建物探訪問」部会での町家の調査結果をもっと市民の皆様にご覧いただけるよう「はならあと ぷらす」としてパネル展示を行います。

そこでは、「はならあと2014」に先立って郡山城址にて開催の「親子まつり」（11月3日【文化の日】）にて子どもたちに作成してもらう町家の紙模型も展示する予定です。



【昨年の「親子まつり」の様子】

「はならあと」の散策を楽しむ際には、是非、郡山八幡神社にもお立ち寄りください！

○展示タイトル「みる・しる・つくる城下町の町家」

○出展者名 （一社）奈良県建築士会郡山支部

○会場・期間 郡山八幡神社・11月14日（金）～16日（日）

○展示内容

- ・大和郡山市「親子まつり」にて、子どもたちが作成した町家の紙模型展示（会場でも作成可）
- ・箱本十三町を中心とした歴史的建造物の調査結果概要のパネル展示

（記・郡山支部 折目貴司）



【町家の紙模型】

H26年度 奈良県エリアマネジメント推進事業案内

桜井駅南側エリアにおける「まちのビジョンづくり」と「景観まちづくり」ワークショップ

桜井市本町通・周辺まちづくり協議会では、奈良県から採択をいただき、エリアマネジメント推進事業に取り組んでおります。現状の課題は、中心市街地の空洞化（空き町家や空き店舗の増加）に伴い、建物の崩壊、火災など年々、危険な状況が増えています。今、私たちに求められていることは、地域資源（歴史的文化遺産、良好な景観、郷土愛など）を大切にしながら、次世代まで、安全安心に暮らせるまちをつくることです。そして、自分たちのまちを自分たちで考え、具体的に解決策を見出さなくてはなりません。そこで、下表の通り、住民・大学・行政など関係者が集まり、このまちの将来の大きな方向性を話し合う「まちのビ

ジョンづくりワークショップ」と これからの景観のあり方を考える「景観まちづくりワークショップ」を開催しておりますのでご参集の程、よろしくお願いいたします。

○日程・場所・内容：下記〈日程と内容〉参照

9月21日よりワークショップはスタートしており、シナリオプランニング①やワークショップ①は開催済みです。

○主催 桜井市本町通・周辺まちづくり協議会

○共催 大阪工業大学

（一社）奈良県建築士会

（一社）うるわしの桜井をつくる会

月 日	時間・場所	内 容	進 行 役
11月2日 （日）	13：30～16：00 エルト2階 第5・6研修室	景観まちづくりワークショップ2回目 ：これからの町並み景観をみんなで考えよう（その2）	建築士会（ヘリテージマネージャー） 林田研究室（大阪工業大学）
11月30日 （日）	13：30～17：00 エルト2階 第4研修室	シナリオプランニング2回目；桜井駅南側エリアの未来について	荒金雅子 （日本ファシリテーション協会理事）
12月20日 （土）	13：30～17：00 エルト2階 第7・8研修室	シナリオプランニング3回目；桜井駅南側エリアの未来について & 景観まちづくりワークショップ3回目	荒金雅子・岡本健（同上） 建築士会（ヘリテージマネージャー） 林田研究室（大阪工業大学）



お知らせ

Information

●平成26年度表彰者のお知らせ

橿原支部の中上博功様が、平成26年度建設事業関係功労者の国土交通大臣表彰を7月10日に受章されました。心よりお祝い申し上げます。なお、慶弔規程に基づく「祝金」をお渡しいたしました。その全額を士会へご寄附いただきました。

奈良支部の上村幸弘様、五條支部の武田正文様が、平成26年度連合会長表彰を10月24日に第57回建築士会全国大会「ふくしま大会」の会場において受章されました。また伝統的技能者表彰を本会から推薦した村井利一様が受章されました。心よりお祝い申し上げます。

●平成26年度 一級・二級・木造建築士定期講習のお知らせ

改正建築士法により、建築士事務所に所属するすべての建築士は、登録講習機関が行う建築士定期講習を3年以内ごとに受講しなければなりません。未受講の方は受講いただきますようご案内申し上げます。

第3期定期講習 第4期定期講習（平成26年度最終）

講習会月日：平成26年11月19日（水） 講習会月日：平成27年2月25日（水）

場所：奈良県産業会館

場所：春日野荘

受付：終了しました。

受付：12月1日（月）～17日（水）

定員：100人

定員：60人

*平成26年度の定期講習は（一社）奈良県建築士会が受付を行っております。

*詳しくはHP又は事務局（0742-30-3111）までお問い合わせ下さい。なお、26年度の受講申込書は常時配布致します。

●ユニバーサルデザイン講演会のお知らせ

今回の講演では、ユニバーサルデザインについてと、韓国の福祉や韓国の女性の立場・仕事、日本との違いなどについてお

話しをしていただきます。

内容 ユニバーサルデザインと韓国の福祉や女性の現状について

講師 趙 玟姫（チョウ ミンジョン）

開催日時 平成26年11月6日（木）

開催場所 建築士会館 1階会議室 参加費 無料

※お問い合わせは建築士会事務局まで

●平成26年度名刺交換会のご案内

恒例の新年名刺交換会を開催致します。是非ご参加ください。

1 開催日時 平成27年1月14日（水）

2 開催場所 奈良ホテル「大和の間」（奈良市高畑町1096）

※詳細は後日ご報告致します。

●奈良県被災建築物応急危険度判定士養成講習会

（更新及び新規登録）

開催日 平成27年1月16日（金）

会場 奈良県文化会館 小ホール

※詳細・申込については、後日ご報告致します。

※会場へはできるだけ公共交通機関のご利用をお願いします。

●事務局 挨拶



9月より奈良県建築士会事務局に勤務させていただくことになりました松本礼子と申します。

最初は慣れないところもあり、至らぬ点多々あると思いますが、一日も早くお役に立てるよう勤めて参りたいと思います。ご指導のほど何卒宜しくお願い致します。

新入会員のご紹介 『よろしく』

氏 名	支部	〒	住 所（自宅）	勤 務 先
向 井 賢 二	橿原	634-0844	橿原市土橋町249-8	ティーシー建設(株)
渡 辺 稔	天理	632-0033	天理市勾田町64-3 ツインハイムA-103	
榎 本 雅 子	橿原	634-0007	橿原市葛本町690-9	

定期報告指導手数料の改定等についてのお願い

この度、（一財）なら建築住宅センターの定期報告指導手数料を平成27年4月1日受付分から下記のとおり改定させていただきます。

調査・検査対象	延べ面積		新定期報告 指導手数料	旧(現行)定期報告 指導手数料	左記、指導手数料とは 別に郵送料※1	
特殊建築物等	1,000㎡以内のもの		5,000	4,000	500	
	1,000㎡を超え、3,000㎡までのもの		7,000	6,000	500	
	3,000㎡を超え、6,000㎡までのもの		9,000	8,000	500	
	6,000㎡を超え、10,000㎡までのもの		10,000	9,000	500	
	10,000㎡を超え、20,000㎡までのもの		13,000	12,000	500	
	20,000㎡を超え、40,000㎡までのもの		16,000	15,000	500	
	40,000㎡を超えるもの		21,000	20,000	500	
建築設備	換気設備 排煙設備 非常用照明設備	の3種の内	設備が1種の場合	4,500	4,000	500
			設備が2種の場合	6,500	6,000	500
			設備が3種の場合	8,500	8,000	500

※1：指導手数料とは別に報告書1件毎の郵送料を加算願います。

なお、上記定期報告指導手数料の改定とは別に、一冊の報告書で複数棟を報告された場合における定期報告指導手数料の算出方法を下記のとおり改めさせていただきます。

1 件の報告書で複数棟報告される場合の新指導手数料の算出方法（平成27年度4月1日受付分から）

	新指導手数料の算出方法	旧（現行）指導手数料の算出方法
特殊建築物等	棟毎の延べ面積に応じた手数料を算出し、それらの手数料を合算する	全ての棟の延べ面積を加算した面積により手数料を算出
建築設備	棟毎の設備の種類に応じた手数料を算出し、それらの手数料を合算する	全ての棟を通して設備の種類が何種かにより手数料を算出

皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。ご不明な点は、当センターへお問い合わせください。（一財）なら建築住宅センター TEL:0742-27-6501（定期報告）

編集後記

最近は、メール 携帯電話（私はスマホをまだ使っていない）を使うことにより便利になり仕事、日常生活に欠かせなくなってきた。携帯電話は、どこでも電話ができて受けることができる。メールは、文章、表、図などが、手紙のように時間がかからず相手に送ることができる。

私は、メールのチェックは、1日2回以上（スマホを持っている人はそれ以上だと思う）確認後、返信する必要がある場合は、すぐか数時間後。1～2日後に返信する場合、「遅くなってすみません」と文章を入れて返信する。携帯電話は、出られる場合はどこにいても出るが、出られない場合、着信番号へ電話

をかけるようにしている。

メールは、送ったことで相手は、必ず見ていると思っている人からだと、夜のメールで翌日の朝からの予定変更を送ってきてあり、時間がなくメールを確認せずに出かけると打合せがキャンセルになっていたこともある。パソコンが壊れメールが出来なくなると非常に困る。携帯電話を持って出かけるのを忘れると一日中不安な気持ちになり落ち着かない。

携帯電話がない、メールがない時代に比べて生活の時間のゆとりがなくなったように思う。歳をとったからだろうか。

（記・乾井 哲）

Calendar

2014年11月

- 2(日) 木のパズル出前授業（青年委員会）
- 3(月) ☒ 文化の日
- 6(木) ユニバーサルデザイン講演会（女性委員会）
- 15(土) 近建青 大阪会議
第34回全国豊かな海づくり大会
～やまと～
（会場：まほろばキッチン西側駐車場）
16日まで
- 16(日) 奈良県地域文化財建造物専門家スキルアップ講習会（第3回）
- 19(水) 平成26年度第3期定期講習（奈良県産業会館）
- 23(日) ☒ 勤労感謝の日
- 24(月) ☒ 振替休日
- 26(水) 住まいアップ住宅無料相談（奈良県建築士会館）
- 29(土) 第16回奈良県景観調和デザイン賞 公開審査会（今井まちなみ交流センター）
「華薨（はないらか）」

Calendar

2014年12月

- 1(月) 第4期定期講習受付（12/17まで 土日祝除く）
- 4(木) 二級・木造建築士試験合格発表予定
- 5(金) 理事会
- 7(日) 奈良県地域文化財建造物専門家スキルアップ講習会（奈良県文化会館）第4回
- 14(日) お菓子の家作り（青年委員会）
- 17(水) 定期講習受付終了
- 18(木) 一級建築士試験合格発表予定
- 23(火) ☒ 天皇誕生日
- 24(水) 住まいアップ住宅無料相談（奈良県建築士会館）
- 26(金) 事務局仕事納め（～1月4日）

士 會 奈 良

通巻598号

平成26年11月1日（発行隔月1回1日発行）

発行所 一般社団法人 奈良県建築士会
〒630-8115 奈良市大宮町2丁目5-7 奈良県建築士会館
電話 0742-30-3111 FAX 0742-33-4333
<http://nara-kenchikushikai.or.jp/>
info@nara-kenchikushikai.or.jp

発行責任者 洲上 徳光
編集 (一社)奈良県建築士会 情報・広報委員会
印刷所 株式会社 明新社

平成25年度 1級建築士 設計製図試験



奈良県の合格者のおよそ6割は、
当学院の現役受講生でした。

奈良県
合格者
占有率

58.3%

奈良県合格者36名中、当学院現役受講生21名



平成25年度 2級建築士 設計製図試験

奈良県の合格者の
およそ2人に1人は、
当学院の現役受講生でした。

奈良県 合格者占有率

奈良県合格者61名中、
当学院現役受講生29名

47.5%

平成25年度 宅建士試験

当学院基準達成
現役受講生
合格率

82.9%

8割出席・8割宿題提出・公開統一模試得点率8割以上
現役受講生 252名中合格者 209名

平成25年度 1級建築施工管理技術検定 学科試験

当学院基準達成
現役受講生
合格率

95.2%

8割出席・8割宿題提出
現役受講生 230名中、合格者 219名

平成24年度 1級建築施工管理技術検定 実地試験

当学院
現役受講生
合格者数

956名

※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。

無料

体験入学会・講座説明会実施中!!

実績が証明した、当学院講座品質。ぜひ、体験してください。

1級・2級 建築士

1級・2級 建築施工管理技士

構造設計1級建築士

1級・2級 土木施工管理技士

宅地建物取引主任者

インテリアコーディネーター



総合資格学院

講座に関するお問合せ・資料請求はコチラまでお気軽に!

奈良校・橿原校

〒631-0822 奈良県 奈良市西大寺栄町3-27 泉谷ビル 4F

TEL.0742-30-1511

www.shikaku.co.jp 総合資格

検索